



エコアクション21[®]
認証番号0001396

エコアクション21 環境経営レポート

(運用期間:2022年10月21日~2023年10月20日)



尾下紙業株式会社

2023年 12月 7日 発行

目 次

1. 事業活動・組織の概要

- 1-1. 会社概要
- 1-2. 対象範囲
- 1-3. 事業の規模
- 1-4. 沿革
- 1-5. 組織図

2. 環境経営方針

- 2-1. 環境経営方針
- 2-2. エコアクション21実施体制及び責任・権限

3. 環境経営目標(及び基準年の環境負荷)

- 3-1. 環境経営目標
 - 基準年(2021年度)実績
 - 年度目標
 - 中期目標

4. 環境経営計画

- 4-1. 環境経営計画(項目)
- 4-2. 環境経営目標の実績と取組結果
- 4-3. 評価と次年度の取組内容
- 4-4. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 事業活動・組織の概要

1-1. 会社概要

| | |
|------|--------------------|
| 社名 | 尾下紙業株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 尾下 浩一 |
| 設立 | 1954年(創業1933年) |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 従業員数 | 91名(2023年10月20日現在) |
| 事業内容 | ・化粧品用段ボール箱の製造及び販売 |

1-2. 対象範囲

◇本社 (認証・登録対象外)

〒142-0043 東京都品川区二葉3丁目16番地8号
☎03-3781-4976

対象外の理由: 登記上のみの本社の為

◇小田原工場 (認証・登録対象)

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町3丁目1番地22号
☎0465-34-3250

事業内容: 化粧品用段ボール箱の
製造及び販売

環境管理責任者 安藤 雅人
担当者 安藤 雅人
E-mail: m.ando@oshita-shigyo.co.jp

◇花王小田原事業所 (認証・登録対象外)

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町5丁目3番地27号
☎0465-34-3735

事業内容: 花王株式会社小田原事業場内における倉庫管理業務

対象外の理由: 花王株式会社小田原事業場内の協力会社として
同工場で推進しているISO14001の取組に包括
され、一体化した環境管理活動を実施している為

1-3. 事業の規模

| | |
|------|---------------------------------|
| 事業年度 | 2023年度(2022年10月21日～2023年10月20日) |
| 売上額 | 1.0億円 |
| 従業員数 | 91名(小田原工場 12名、花王小田原事業所 79名) |
| 延床面積 | 1,120m ² (小田原工場) |

1-4. 沿革

| | |
|-------|---|
| 1933年 | 東京府赤羽区稲付町にて尾下紙器製作所を設立。 |
| 1941年 | 第2次大戦時、軍の依頼で小銃弾用ボール函を製造。 |
| 1944年 | 戦局激化、強制疎開により製作所を一時閉鎖。 |
| 1946年 | 終戦により上京し、製作所を再開。 |
| 1947年 | 東京都品川区二葉町に段ボール函製造工場を新設。 |
| 1954年 | 尾下紙器製作所を閉鎖し、尾下紙業株式会社を設立。 |
| 1963年 | カネボウ化粧品大井工場の墨田区鐘ヶ淵移転に伴い、墨田工場を新設。 |
| 1969年 | カネボウ化粧品鐘ヶ淵工場の小田原移転に伴い、小田原市寿町1丁目に小田原第1工場を新設。 |
| 1973年 | 段ボールケース受注増加に伴い、小田原市寿町3丁目に小田原第2工場を新設。 |
| 1978年 | 印刷用樹脂版製造機を導入。 |
| 1979年 | ワンタッチケースグルアー(1号機)導入。 |
| 1981年 | ワンタッチケースグルアー(2号機)導入。 |
| 2000年 | 自動平型打抜機、小ロット用打抜機、カッティングプロッター導入。 |
| 2007年 | 環境マネジメントシステム エコアクション21 認証取得。 |
| 2017年 | 森林認証制度 FSC [®] 認証取得。 ライセンスコード:FSC [®] -C136005 認証番号:SGSHK-COC-350159 |

1-5. 組織図

本 社

登記上の本社は、東京都品川区二葉にありますが、
実質上の本社機能は小田原工場にあり社長も小田原
工場に常勤しています。

小田原工場

エコアクション21対象範囲

総務部

総務課

営業部

営業課

技術開発課

生産管理課

製造部

製造課

花王小田原事業所

花王株式会社小田原事業場内
に常駐(倉庫業務を請負)し常駐
先の環境管理システム(ISO14
001)に組み込まれ一体的な環
境保全活動を実施している。

事務グループ

原料グループ

副資材グループ

空替グループ

計量グループ

2. 環境経営方針

2-1. 環境経営方針

環境経営方針

尾下紙業株式会社は
誠実・協調・努力・創造・感謝をモットーに
段ボールを通じて、日本の循環型社会に貢献する
企業を目指します

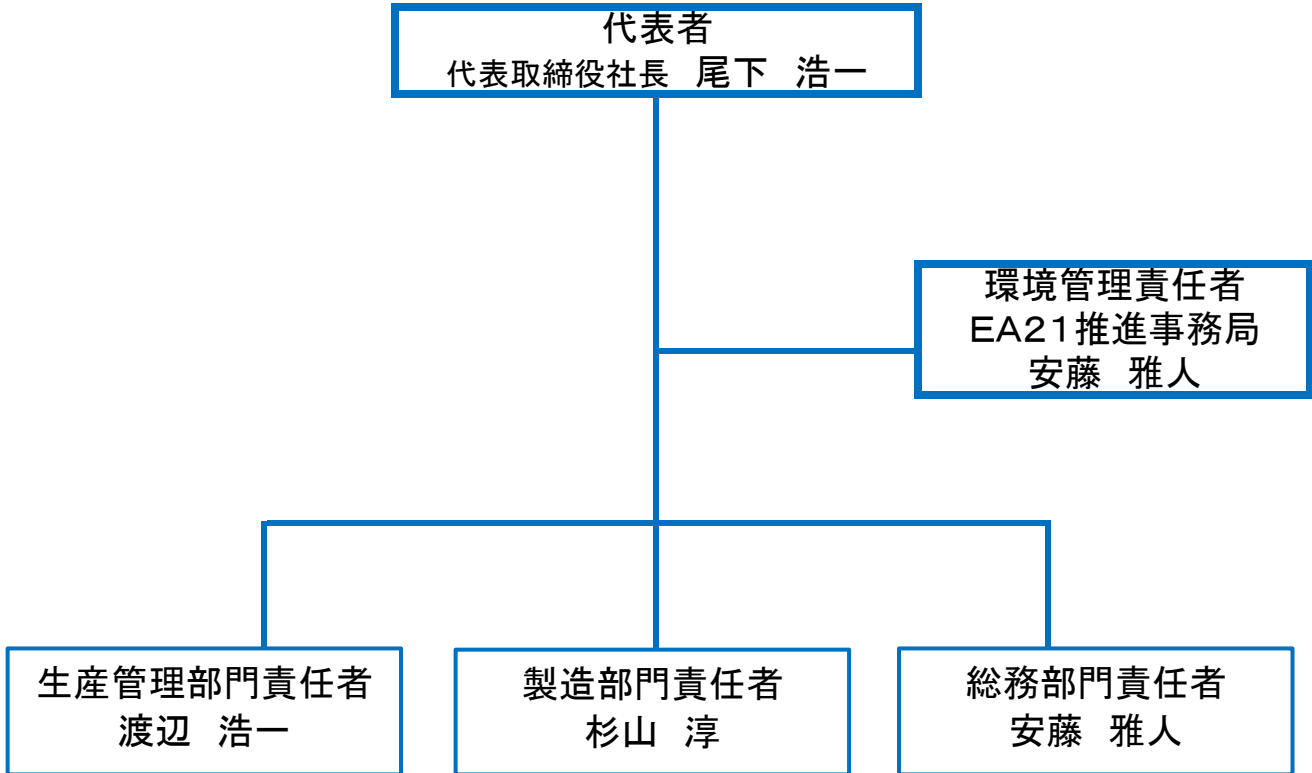
1. 電力、燃料、水の無駄な使用を抑え、使用量を抑制します
2. 製品製造での不良率の低減により、廃棄物の削減に努めます
3. 使用する化学物質の管理を強化し周辺環境への影響の低減に努めます
4. グリーン購入に努めます
5. 環境にやさしい段ボール製品の販路拡大に努めます
6. 全従業員の環境に対する認識を高めるため、教育・訓練の実施に努めます
7. 環境保全に関する法令やその他の規制等を遵守します
8. 私たちが働く地域の清掃活動等に積極的に参加します
9. FSC[®]認証の紙を積極的に使用します
10. 環境経営の継続的改善に努め、持続可能な社会づくりを目指します

令和5年11月1日



尾下紙業株式会社
代表取締役社長 尾下 浩一

2-2. エコアクション21実施体制及び責任・権限



| | 役割・責任・権限 |
|-----------|---|
| 代表者 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の任命 2. 環境経営方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化 |
| 環境管理責任者 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理 |
| EA21推進事務局 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 4. 環境経営の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成 |
| 部門責任者 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門における環境経営システムの実施、環境経営方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 従業員 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針を理解し、部門の環境経営計画に従って活動する。 2. エコアクション21の活動に関する提案 |

3. 環境経営目標

3-1. 環境経営目標

| 環境経営目標 | 単位 | 基準年実績 | 年度目標 | 中期目標 | |
|-----------------|-----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | | 2021年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| ①二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 39,641.0 | 39,244.6 | 39,046.4 | 38,848.2 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | kg-CO ₂ -t | 60.06 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 1. 電力使用量の削減【総量】 | kWh | 70,794.0 | 70,086.1 | 69,732.1 | 69,378.1 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | kWh-t | 107.26 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 2. ガス使用量の削減 | m ³ | 23.1 | 22.9 | 22.8 | 22.6 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | m ³ -t | 0.03 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 3. ガソリン使用量の削減 | L | 727.5 | 720.3 | 716.6 | 713.0 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | L-t | 1.10 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 4. 軽油使用量の削減 | L | 3,751.7 | 3,714.2 | 3,695.4 | 3,676.7 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | L-t | 5.68 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| ②廃棄物排出量の削減 | t | 208.3 | 206.2 | 205.2 | 204.1 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | t-t | 0.31 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| ③水使用量の削減 | m ³ | 418.0 | 413.8 | 411.7 | 409.6 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | m ³ -t | 0.63 | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| ④グリーン購入の拡大 | % | 52.0 | 53.0 +2% | 53.6 +3% | 54.1 +4% |
| ⑤化学物質の徹底管理 | - | 徹底した管理と維持継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| ⑥製品の販路拡大 | - | 環境配慮製品の販路拡大を目指す | 取引先拡大 前年度+1社以上! | 取引先拡大 前年度+1社以上! | 取引先拡大 前年度+1社以上! |
| ⑦遵法対策の実施 | - | 制定、改正の確認及び評価 | 継続 | 継続 | 継続 |
| ⑧教育・訓練の推進 | - | 全体教育の実施 緊急時対応訓練 | 継続 | 継続 | 継続 |
| ⑨地域貢献の拡大 | - | 酒匂川清掃活動の参加(今回は中止) | 参加の継続 目標5名以上! | 参加の継続 目標5名以上! | 参加の継続 目標5名以上! |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.571
(令和5年度実績:グローバルエンジニアリング)

※ グリーン商品購入数/全(用品)購入数×100(%)

※ 近年は全体的に大きく変動(下降)があり、また会社を取り巻く環境の変化等から
基準年を2021年に設定し、新たに取り組むことにしました。

3. 環境経営目標

3-1. 環境経営目標

| 環境経営目標 | 単位 | 基準年実績 | 年度目標 | 中期目標 | |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| | | 2021年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| ①二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 39,641.0 | 39,244.6 | 39,046.4 | 38,848.2 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | kg-CO ₂ -t | 60.06 | 59.5 | 59.2 | 58.9 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 1. 電力使用量の削減【総量】 | kWh | 70,794.0 | 70,086.1 | 69,732.1 | 69,378.1 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | kWh-t | 107.26 | 106.2 | 105.7 | 105.1 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 2. ガス使用量の削減 | m ³ | 23.1 | 22.9 | 22.8 | 22.6 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | m ³ -t | 0.03 | 0.0297 | 0.0296 | 0.0294 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 3. ガソリン使用量の削減 | L | 727.5 | 720.3 | 716.6 | 713.0 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | L-t | 1.10 | 1.089 | 1.084 | 1.078 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| 4. 軽油使用量の削減 | L | 3,751.7 | 3,714.2 | 3,695.4 | 3,676.7 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | L-t | 5.68 | 5.62 | 5.59 | 5.57 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| ②廃棄物排出量の削減 | t | 208.3 | 206.2 | 205.2 | 204.1 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | t-t | 0.31 | 0.307 | 0.305 | 0.304 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| ③水使用量の削減 | m ³ | 418.0 | 413.8 | 411.7 | 409.6 |
| 【原単位(生産量あたり)】 | m ³ -t | 0.63 | 0.624 | 0.621 | 0.617 |
| | | | -1.0% | -1.5% | -2.0% |
| ④グリーン購入の拡大 | % | 52.0 | 53.0 | 53.6 | 54.1 |
| | | | +2% | +3% | +4% |
| ⑤化学物質の徹底管理 | - | 徹底した管理と維持 継続 | 継続 | 継続 | 継続 |
| ⑥製品の販路拡大 | - | 環境配慮製品の 販路拡大を目指す | 前年度+1社以上! | 前年度+1社以上! | 前年度+1社以上! |
| ⑦遵法対策の実施 | - | 制定、改正の確認 及び評価 | 継続 | 継続 | 継続 |
| ⑧教育・訓練の推進 | - | 全体教育の実施緊急 時対応訓練 | 継続 | 継続 | 継続 |
| ⑨地域貢献の拡大 | - | 酒匂川清掃活動の 参加(今回は中止) | 目標5名以上! | 目標5名以上! | 目標5名以上! |

※ 購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.571
(令和5年度実績:グローバルエンジニアリング)

※ グリーン商品購入数/全(用品)購入数×100(%)

※ 近年は全体的に大きく変動(下降)があり、また会社を取り巻く環境の変化等から
基準年を2021年に設定し、新たに取り組むことにしました。

4. 環境経営計画

4-1. 環境経営計画(項目)

①二酸化炭素排出量の1.0%削減

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 電力使用量の1.0%削減 | パソコン及びモニターの電源管理 |
| | エアコンの温度設定の改善とフィルターのこまめな清掃 |
| | LED化の促進(主に工場作業場) |
| | 不要な照明の消灯、蛍光灯自体の撤去 |
| | 各機材の省エネ仕様への切り替え |
| 2. ガス使用量の1.0%削減 | 給湯器の使用効率化 周辺器具(ホースなど)の点検、修理 |
| 3. ガソリン使用量の1.0%削減 4. 軽油使用量の1.0%削減 | 車両の点検整備の徹底 |
| | エコドライブの徹底 |
| | アイドリングストップの実行 |
| | 配車計画の効率化 車使用の削減(自転車、宅配利用) |

②廃棄物排出量の1.0%削減

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|-------------|--------------------------|
| 1. 段ボール屑の削減 | 製品不良率の低減 紙類のリサイクル先の検討 |

③水使用量の1.0%削減

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|---------|------------------|
| 1. 節水活動 | フレキシソ洗浄の合理化 |
| | トイレの節水(音消し装置の活用) |
| | 配水管漏れチェックと対策の実施 |
| | 日々の使用水量管理 |

④グリーン購入の拡大 目標2.0%増

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|--------------|--------------------------|
| 1. グリーン購入の拡大 | 工場用品のグリーン購入推進、その他エコ商品の調査 |

⑤化学物質の徹底管理

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|--------------|---------------------|
| 1. 化学物質の徹底管理 | 徹底した管理と維持継続 |
| | 安全データシート(SDS)の確認と運用 |
| | 使用担当者への教育 |
| | 専用の講習会への参加 |

⑥製品の販路拡大

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|------------|--|
| 1. 製品の販路拡大 | 環境配慮製品の販路拡大を目指す(展示会への出展等) ホームページを利用した施策 |

⑦遵法対策の実施

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|------------|--------------|
| 1. 遵法対策の実施 | 制定、改正の確認及び評価 |

⑧教育・訓練の推進

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|-------------|-----------------|
| 1. 教育・訓練の推進 | 全体教育の実施と緊急時対応訓練 |

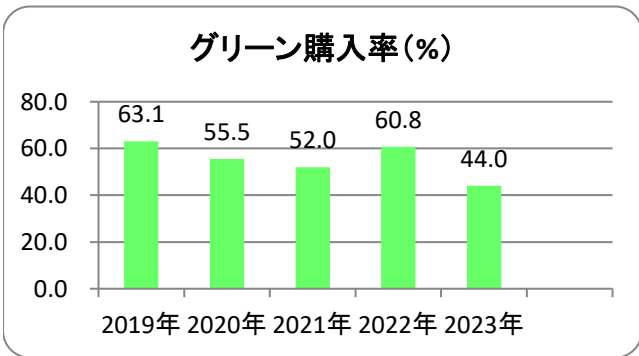
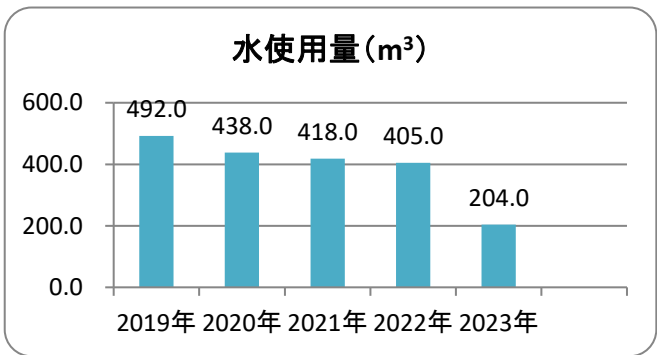
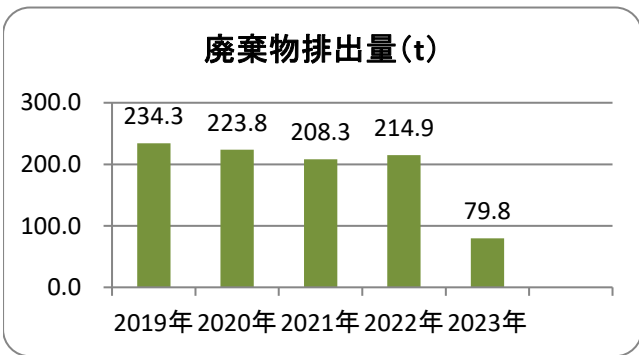
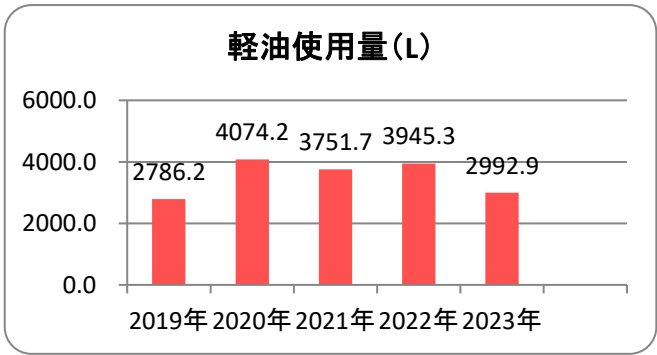
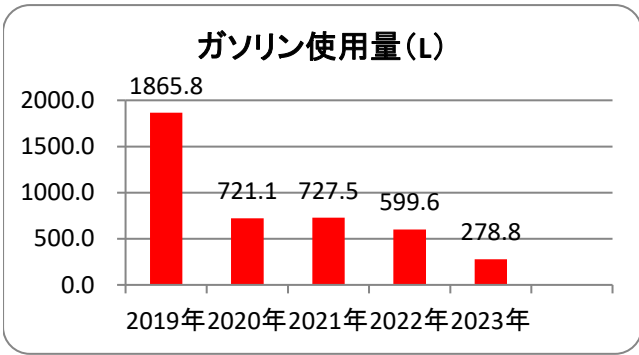
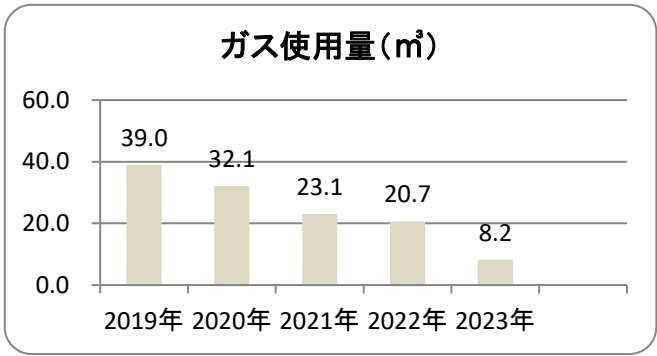
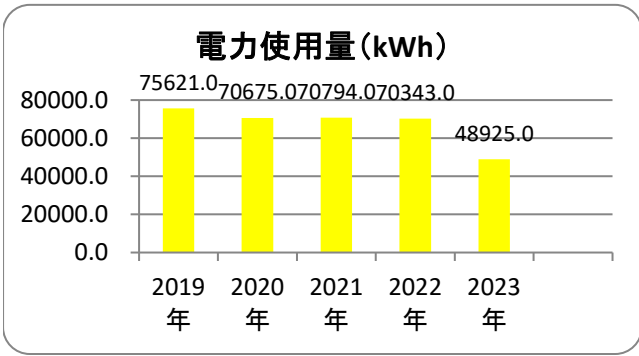
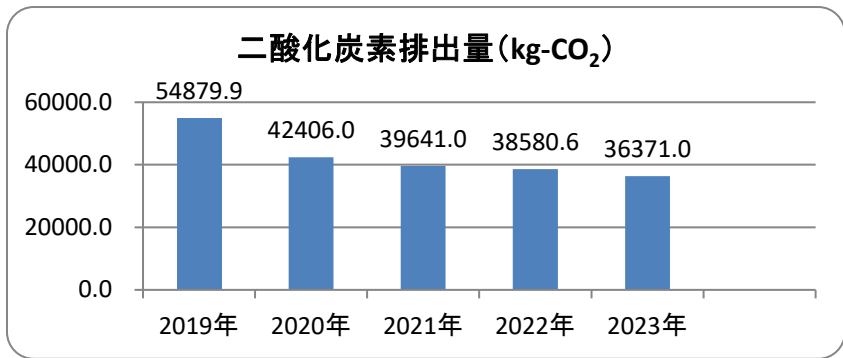
⑨地域貢献の拡大

| 環境経営内容 | 取組項目 |
|------------|-------------------|
| 1. 地域貢献の拡大 | 地域の清掃活動への参加 |
| | 地元の環境活動への自主的参加の推進 |

4-2. 環境経営目標の実績と取組結果

| 環境経営目標 | 単位 | 2023年度 目標値 | 2023年度 実績 | 達成 区分 |
|--------------|--------------------|-------------------------------------|---------------------|----------|
| ①二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 39,244.6 基準年度-1.0% | 36,371.0 93% | ○ |
| | 1. 電力使用量の削減 | kWh 70,086.1 基準年度-1.0% | 48,925.0 69.8% | ○ |
| | 2. ガス使用量の削減 | m ³ 22.9 基準年度-1.0% | 8.2 36% | ○ |
| | 3. ガソリン使用量の削減 | L 720.3 基準年度-1.0% | 278.8 39% | ○ |
| | 4. 軽油使用量の削減 | L 3,714.2 基準年度-1.0% | 2,992.9 81% | ○ |
| ②廃棄物排出量の削減 | t | 206.2 基準年度-1.0% | 79.8 39% | ○ |
| ③水使用量の削減 | m ³ | 413.8 基準年度-1.0% | 204.0 49% | ○ |
| ④グリーン購入の拡大 | % | 53.0 基準年度+2.0% | 44.0 83% | × |
| ⑤化学物質の徹底管理 | - | 徹底した管理と 維持継続 | 継続できています | ○ |
| ⑥製品の販路拡大 | - | 取引先拡大 目標+1社以上! | 取引先拡大 +4社 | ○ |
| ⑦遵法対策の実施 | - | 制定、改正の 確認及び評価 | 遵守できています | ○ |
| ⑧教育・訓練の推進 | - | 全体教育の実施 緊急時対応訓練 | 教育・訓練実施完了 | ○ |
| ⑨地域貢献の拡大 | - | 参加の継続 目標5名以上! | 5/14開催 今回の参加者は6名 | ○ |

4-2. 環境経営目標の実績と取組結果



4-3. 評価と次年度の取組内容

①二酸化炭素排出量(電力、ガス、ガソリン、軽油)について

今年度は昨年度と比較して、生産量が大幅に減少し、前年比30%を下回った。しかし、CO2排出量は項目により異なる値を示している。

電力: 排出量の中で1番生産量の減少と乖離している。機器の稼働時間よりも工場内の照明の使用や夏場・冬場の空調の使用量の割合が大きいと考えられる。更に削減するにはLEDへの切り替えを促進していきたいが、売上が伸び悩んでいる状況で、今後の課題にして検討していく。

ガス・軽油に関しては概ね予想通り。

ガソリンに関しては配送用のトラックが近隣を走行するのでどうしても燃費が悪くなり使用量が減らない。混載を出来るだけ多くして、配送効率を上げてもらいたい。

②廃棄物排出量について

段ボールの排出量に関して、概ね生産量の減少と比例しているが、30%を下回っている。生産量の減少率よりも上回っており、不良率・歩留まりの改善含め調査をしていきたい。

③水使用量について

水の使用量は、大半が生活用水(トイレの使用)が主である為、人員が減った事が主な要因と考えられる。今後は、現在の人数をベースに数値を見定めていきたい。

④グリーン購入の拡大について

製造に関わる物品でのグリーン購入が成果が出ていない。間接部門での事務用品での購入への変更を今後も継続していく。

⑤化学物質の徹底管理について

今後も法令の遵守、数量管理を徹底していく。
(新規メーカーに対して、代替品に関する調査中)

⑥製品の販路拡大について

以前は展示会に出展して、その際に新規の受注を得たが、コロナ以降対面での営業活動が難しくなった。数ヶ月前より実施しているチラシの投函、SNSでの発信で少しずつ成果が出始めている。

⑦遵法対策の実施について

引き続き、該当する法律の改正の有無を調査し、法令に則した業務を実行していく。

⑧教育・訓練の実施について

年に1回の防災訓練(主に消火器使用)以外でも、月に1度の安全パトロール、安全委員会(順番に全員参加)を実施している。それ以外でも全体朝礼での災害の事例や注意喚起を継続していく。

⑨地域貢献の拡大について

地域の清掃活動は継続して参加していく。以前行っていた地域での防災訓練が、コロナ以降実施されていないが、復活することになれば、社員を定期的に参加させたい。

4-4. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

| 環境経営目標 | 単位 | 2024年度目標値 | 環境経営計画 | 責任者 | 日程 |
|---------------|--------------------|-----------------------|---|------|-------|
| ①二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 39,046.4 基準年度-1.5% | ・電力、化石燃料使用量の削減 ・不良率の低減 ・コロナの状況を見て目標値と基準年度の見直しをかける | 尾下社長 | 年度末 |
| 1. 電力使用量の削減 | kWh | 69,732.1 基準年度-1.5% | ・パソコン・モニターの電源管理 ・エアコンの温度管理とフィルター清掃 ・工場作業場部分照明のLED化 ・不要な照明の消灯・間引き ・各機材の省エネ仕様への切り替え | 尾下社長 | 3ヶ月毎 |
| 2. ガス使用量の削減 | m ³ | 22.8 基準年度-1.5% | ・給湯器の使用効率化 ・使用後の確認チェックの強化 | 安藤係長 | 3ヶ月毎 |
| 3. ガソリン使用量の削減 | L | 716.6 基準年度-1.5% | ・車両の点検整備の徹底 ・エコドライブの徹底 ・アイドリングストップの実行 | 安藤係長 | 3ヶ月毎 |
| 4. 軽油使用量の削減 | L | 3,695.4 基準年度-1.5% | ・配車計画の効率化 ・車使用の削減(自転車、宅配利用) | | |
| ②廃棄物排出量の削減 | t | 205.2 基準年度-1.5% | ・製品不良率の低減 ・紙類のリサイクル先の検討 | 尾下社長 | 年度末 |
| ③水使用量の削減 | m ³ | 411.7 基準年度-1.5% | ・フレキシソ洗浄の合理化 ・トイレの節水(音消し装置の活用) ・配水管漏れチェックと対策の実施 ・日々の水使用量の管理 | 尾下社長 | 3ヶ月毎 |
| ④グリーン購入の拡大 | % | 53.6 基準年度+1.5% | ・工場用品のグリーン購入推進 ・文房具系統以外にも対象を拡大 | 安藤係長 | 毎月 |
| ⑤化学物質の徹底管理 | - | 徹底した管理と維持継続 | ・徹底した管理と維持継続 ・安全データシート(SDS)の確認と運用 ・使用担当者への教育 ・専用の講習会への参加 | 尾下社長 | 年度末 |
| ⑥製品の販路拡大 | - | 取引先拡大 目標+1社以上! | ・環境配慮製品の販路拡大を目指す(展示会への出展等) ・ネット環境を利用した施策、企業HPでの販 | 尾下社長 | 年度末 |
| ⑦遵法対策の実施 | - | 該当法規の更新チェック | ・制定、改正の確認及び評価 ・複数のサイトも調査 | 安藤係長 | 毎月 |
| ⑧教育・訓練の推進 | - | 教育・訓練の全員参加 | ・全体教育の実施と緊急時対応訓練 | 尾下社長 | 訓練実施毎 |
| ⑨地域貢献の拡大 | - | 参加の継続 目標5名以上! | ・地域の清掃活動への参加 ※地元の環境活動への自主的参加の推進 | 尾下社長 | 5月 |

わたしたちの取組



ファンを付けて効率アップ！



トイレに節電を呼びかけるポスター



エアコンや水道にも節電・節水の呼びかけ



使わない蛍光灯は消す！



クリーンさかわ
酒匂川の清掃活動



地域の人みんなで
一緒にゴミ拾い



毎年の防災訓練
いざと言う時のために
しっかり行います！



5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等の遵守状況は下記の通りです。

| 環境関連法規 | 適用される事項(施設、物質、事業活動等) |
|--------------|--------------------------------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物(事務・厚生系)、産業廃棄物(段ボール屑・廃油等) |
| 騒音・振動規制法 | 印刷機械(1台:フレキシダイカッター) |
| 消防法(危険物) | IPA(指定数量の1/5未満) |
| 神奈川県生活環境保全条例 | 指定事業所・敷地境界線における騒音の規制 |

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果

- ・ 違反なし(過去3年間)
- ・ 訴訟なし(過去3年間)

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

2023年 11月 1日 見直し実施

見直し結果

| 項目 | 変更の必要性 |
|------------|--|
| 環境経営方針 | 変更の必要なし。 |
| 環境経営計画 | 変更の必要なし。しかし生産状況を取り巻く環境に対し、変更の必要があれば対応。 |
| 環境経営システム全体 | 変更の必要なし。 |

代表者による全体評価

前期から比較して大幅な生産減に見舞われ、取組以前に工場の体制の変更を最優先に実施した。その状況下での今期の結果を分析すると、二酸化炭素の排出量が項目によりかなりの実績の差が見られた。生産量が前年と比較して30%にもかかわらず、特に電力に関してでは70%に留まっている。

主な要因が機器の稼働による使用量よりも、工場内照明や空調での使用の割合が大きいと考えられる。製造過程で発生する排出ではないので、早急な改善が中々見当たらない。

現在使用している蛍光灯が使用不可になった時に、順次LED照明へ切り替えていく事を進めていく。

その他燃料関係でガスに関しては、現在の数値が基準になっていくと思うので、今後の推移を見守りたい。ガソリン・軽油に関しては複数地域への混載、配送日の集約化を行い出来る限り空車状態を削減して欲しい。

課題としては、販促拡大による売上増、新規顧客の開拓が求められる。コロナからの行動制限が解除され、以前よりも対面での対応が容易になってきたので、更なる獲得に向けて取り組んでいきたい。

また、インターネットやSNSを活用し、当社の情報を世間に知って頂く為に新製品の開発や製品の紹介等を定期的に発信していく。



エコアクション21 環境経営レポート

運用期間：2022年10月21日～2023年10月20日

発行日：2022年 12月 7日

 尾下紙業株式会社 小田原工場

〒250-0002 神奈川県小田原市寿町3丁目1番地22号

TEL: 0465-34-3250